

堺・地域コミュニティ学校推進事業

平成25年度予算要求額 3,150千円（平成24年度 2,045千円）

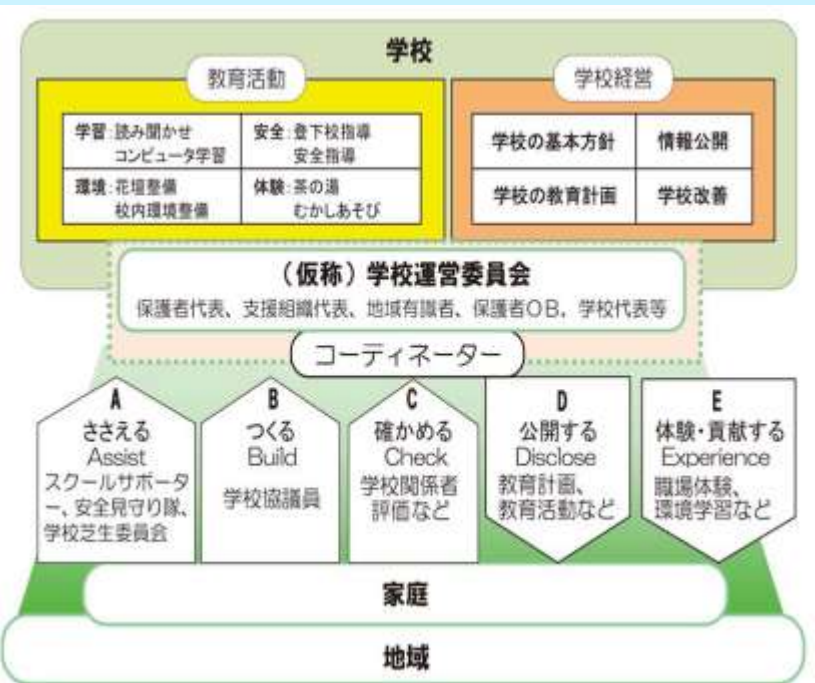
目的：学校運営に地域の意見を取り入れることにより、学校のマネジメント力を向上させ、地域住民等が学校の教育活動を多様な方法で支援することで学校の在り方を変えていく。また、学校の資源を地域の活動に提供することを通じて、地域と学校が支え合い、コミュニティの拠点となりえる地域コミュニティ学校のモデルを構築する。

<事業の概要>

①モデル校での実践を通じて、学校と地域の実情に合わせた、地域コミュニティ学校のモデルを構築する。

②いきいき堺市民大学と連携し、学校と地域をコーディネートできる人材を育成する。

学校・家庭・地域との協働による地域協働型教育
（「未来をつくる堺教育プラン」より）



<これまでの取組>

<平成23年度>

- ・モデル校7小学校で「学校運営委員会」を立ち上げ
- ・「いきいき堺市民大学」で専門講座(地域協働教育コース)開設準備

<平成24年度>

- ・モデル校7小学校で、「学校運営委員会」を中心として、学校運営への参画に取り組む。
- ・「いきいき堺市民大学」で専門講座(地域協働教育コース)を開設し、修了生を輩出。次年度の講座開設準備

<成果>

- ・モデル校が各自の地域協働型教育の取組や仕組みを、大阪府教育コミュニティづくり実践交流会等で発信
- ・「優れた地域による学校支援活動推進にかかる」文部科学大臣表彰を受賞
- ・「いきいき堺市民大学専門講座・地域協働教育講座」の受講生から「堺マイスタディ事業」のコーディネーター2名輩出

<課題>

学校運営への参画における「熟議」のあり方

<平成25年度の事業内容>

モデル校の数を拡大することで、モデル校のみならず、それ以外の学校園でも「熟議」を基本とする地域協働型教育を活性化し、自校にとって、より適したモデルの採用や創出を促す。

「熟議」…協働を目指した対話のこと